

# 新春 座談会

Living on Azumino



—— 地域おこし協力隊が語る 安曇野暮らしと挑戦 ——

## この景色と人とながかり、暮らす。

現在活動中の地域おこし協力隊5人に安曇野暮らしの魅力と地域と関係性を築きながら挑戦していること、そして未来への思いを語ってもらいました。

地域おこし協力隊に応募した理由や  
現在の活動内容を教えてください

瀬戸 自然が豊かな場所で子育てをして暮らせたらいいなと考えていたところ、地域おこし協力隊の募集を見つけ迷わず応募しました。また、海外での生活が長く、日本の地域社会や文化を深く知らなかったため、日本の「ディープな部分」を自分の目で見て体験したいと考えていたことも理由の一つです。

山崎 私はアクティビティを通じて明科を活性化させる取り組みを始めて2年目になります。1年目はガイドの資格取得に集中し、現在はその資格を活用してイベントなどを行っています。明科活性化担当として、地域が盛り上がることに幅広く取り組んでいます。特に一昨年、瀬戸さんと制作した手作りの「明科マップ」は3000部を発行しました。

栗原 どんな人に読まれているのですか。

山崎 観光客はもちろんですが、お店に置いてあると立ち寄った地元の人を読み物として見てくれることも多いです。地域の皆さんとワークショップを行い、思いを地図に反映することで、つながりが生まれたらいいなと思っています。

松尾 私は地域おこし協力隊という制度以前に安曇野に住みたいという思いが、

ていたところ、安曇野市の協力隊が山に関わる仕事だったため応募しました。安曇野は自然と街のバランスがとても良い場所だと感じています。

体を動かす仕事から、言葉や頭を使う仕事に切り替わり、どう動けば良いのかを考える3カ月でした。ただ、たき火を囲んだり、地域の皆さんと豚汁を食べたりする時間も仕事の一部で、とても幸せな仕事だと感じています。

日々の活動で感じていることや  
思いを教えてください

栗原 婚活イベントを12月に開催しました。自然がすぐそばにあるすきな会場で外でたき火をしてジビエカレーを食べながらと雰囲気良く、里山のエッセンスがプラスに働いてたなと思ってます。それが参加者の背中を後押して出会いにつながったのかなって思っています。

天沼 このイベントは、私自身が東京で婚活に行っていたこともあり、面白いんじゃないかっていう発想で採用面接時に話した企画でした。それが実現して、みんなで作り上げた実感がありました。今後も2弾、3弾と開催していきたいです。

栗原 就任してから里山市や食の感謝祭、婚活イベントと、イベントを重ねるにつれて名前を覚えてもらえた実感があります。さとぼろ。は約10年続くプロジェクトです。

ありました。協力隊は地域にグラデーションのようになじみながら定住できる仕組みだと思い、移住してきました。

1年目の活動で空き家は単なる建物ではなく、地域の思い出や歴史が詰まった場所だと気付きました。空き家が増えることで、その記憶が失われることを課題に感じ、2年目は地域の皆さんと話し合いながら、空き家を活用した店舗を開いて実践しています。

栗原 松尾さんと山崎さんがオープンした松崎商店は本場にすてきな場所なんです。

山崎 空き家活用は専門知識も必要で、相談内容も重くなりがちですが、松尾さんの真面目な性格がとても合っていると思います。

松尾 松尾まじめです。

一同 松尾はじめ・まじめですね(笑)。

栗原 成果がたくさん出ていてすごいですね。私も松尾さんと一緒に安曇野に移住したくて。その理由はやっぱり風景、ここに住んだら、毎日ハッピーな気持ちで過ごせそうだなと思っています。空が広いというか、土地も広いし子どもたちがのびのびできそうなのも気に入っています。

天沼 私は山が好きで、以前は山小屋で働いていました。信州に住みたいと思っ

YASUHIRO SETO



瀬戸 康弘さん(38)  
明科地域の活性化  
2024.1～

横浜市から移住。バイク整備士、自衛隊の車両整備、青年海外協力隊(タンザニア)、自動車会社の海外マーケティング担当という異色の経歴の持ち主。

DAIKI YAMAZAKI



山崎 大輝さん(30)  
明科地域の活性化  
2024.5～

愛知県から移住。西表島でのネイチャーガイド、工場勤務、アパレル業などの仕事をしながら、趣味で地域活性化イベントを運営。バンド活動経験もある。

HZIME MATSUO



松尾 大さん(43)  
空き家の利活用  
2024.5～

東京都から移住。前職ではジュエリースクール講師として商品制作、Webマーケティング、ブランド運営等に関わる。趣味は山登り、キャンプ、旅、ウクレレ。

REIRI KURIHARA



栗原 怜里さん(39)  
さとぼろ。広報担当  
2025.10～

台湾から家族で移住。写真好きが講じて新聞社の写真記者、台湾でWebライター、フォトグラファーとして記事作りに携わる。趣味は読書、山、お茶タイム。

SHUN AMANUMA



天沼 峻さん(30)  
さとぼろ。広報担当  
2025.10～

東京都から移住。議員警察を経て山小屋の小屋番やミカン農家、サトウキビ刈りなど季節の仕事を経験。趣味はランニングと筋トレ。特技は剣道(4段)。